

## 和 CAFE 茶楽 (ちゃらく)

1925年創業の茶問屋、山梨商店が運営する、抹茶スイーツと静岡茶の販売とカフェのお店。

■茶販売：9:00～18:00

営業：木金土日月

深蒸し茶、山のお茶、お買い得茶 (ふだんのみ)  
フルーツ静岡茶、静岡茶ハーブ



■CAFE (店内飲食) 火水休

営業：木金土日 10:00～17:00

抹茶スイーツ 10:00～ ランチ 11:30～



2005年、茶問屋が運営する「お茶カフェ」として誕生。  
TBS「王様のブランチ」、日テレ「ヒルナンデス」をはじめ、  
「とびっきり食堂」、「くさデカ」、「静岡そこ知り」など  
グルメ番組でも紹介される、人気のお茶カフェです。

※新型コロナウイルス対策を万全にお越しをお待ちしております。

## 交通機関のご案内

■電車 JR東海道線 興津駅下車 徒歩8分

■自家用車

◇東名清水インター 清水IC降り、沼津方面に右折、  
国1バイパス清見寺インターで降り直進。マックスバリュ興津  
店前T字路を右折すると直ぐです。

◇静岡方面から 国1バイパスを清水方面へ、東名清水IC  
を越え、清見寺インターで降り直進。MAXバリュ興津店右折。

◇富士・沼津から 国1バイパス健康ランドが見えたら、  
旧国と52号の交差点を左折。生涯学習交流館前。



◇タクシーのご用命は

東静岡駅発 千代田タクシー 054-261-0360

※9人乗りジャンボタクシーもご用意できます。

興津駅発 日の丸交通タクシー 054-366-1177

〒424-0205 静岡市清水区興津本町 158-1

ホームページ [www.chaluck.jp](http://www.chaluck.jp)

TEL 054-369-2301 火、水曜定休

1925年創業の茶問屋 有限会社 山梨商店



清見寺、坐漁荘、水口屋ギャラリーなど、茶楽周辺は見所が満載です。

# 興津観光案内

## 清見寺

茶楽から西へ徒歩 7 分  
家康ゆかりのお寺 拝観 30 分



静岡市清水区興津清見寺町 418-1

054-369-0028 8:30~16:00 受付 (16:30 まで)

### ■沿革

臨済宗妙心寺派の寺院。山号は巨龍山、正式には「巨龍山清見興國禪寺」(こごうさん せいけんこうこくぜんじ)と称する。奈良時代に創建。足利尊氏、今川義元、徳川家康の帰依を受け、庇護されました。

### ■見どころ 有料 300 円 (大人)

名勝庭園、家康公手習いの間、明治天皇陛下、玉座の間。  
朝鮮通信使(幕府の招へいで来日した外交使節団)の扁額。

以下、境内の見学は入場無料です。

臥龍梅：がりゅうばい。家康公お手植えの梅

琉球王子の墓：駿府で病死した琉球王の弟の墓

梵鐘：豊臣秀吉が「葦山の戦い」で使った鐘とされます。

五百羅漢：島崎藤村の小説「桜の実の熟する時」に登場。

咸臨丸の碑：駿河湾で難破した幕府軍・咸臨丸乗組員の碑。当時賊軍として放置されていた遺体を、清水次郎長が清水区築地町に埋葬しました。

## 興津坐漁荘

茶楽から西へ徒歩 10 分  
明治の元勳、西園寺公の隠居所 見学 30 分



静岡市清水区興津清見寺町 115

054-369-2221 10:00~17:00 月休

### ■沿革

明治最後の元老・西園寺公望(さいおんじきんもち)公は、穏やかな気候、山海の食物豊かな興津が大のお気に入り、1919年に別邸を建てのちに「坐漁荘」と命名。昭和15年逝去までこの地にお住いでした。戦前は総理大臣が決まると、興津駅に特急が停まり、駅から二頭立ての馬車に乗り坐漁荘まで、新任のご挨拶に向かうほど、政治力を持った元老でした。

昭和15年ご逝去、戦後の荒廃で犬山明治村への移転が決まりましたが、地域の人々の熱意で復元されました。

★ボランティアの方々が丁寧に説明してくださり、当時の佇まいを十分に味わうことができます。

### ■見どころ 入場無料

京風数寄屋造りの建物とお庭。

西園寺公がご使用になった当時の品々など。

## 一碧楼・水口屋ギャラリー

茶楽から東へ徒歩 2 分  
400 年続いた旅館の資料館。見学 20 分



静岡市清水区興津本町 36

054-369-6101 10:00~16:00 月休

### ■沿革

江戸時代は東海道興津宿の脇本陣。明治以降は海水浴の宿として、また宮家や政治家、文化人の別荘旅館として利用されました。米国人オリバー・スタットラーの著書『JAPANESE INN』で紹介され、外国でも有名でしたが、昭和60年に約400年続いた旅館の歴史に幕を下ろしました。

現在は鈴与株式会社様の管理のもと、その一角を「水口屋ギャラリー」とし、水口屋と興津に関する資料を紹介しております。

★専属のボランティアガイドが、丁寧に説明します。

### ■見どころ 入場無料

20代当主、望月半十郎氏が保有していた水口屋に関する什器や資料類。昭和32年、第12回国民体育大会(静岡国体)の際にお泊りになった、昭和天皇の資料など。